

報道関係者各位

一般財団法人 雇用開発センター

.....

6 月度内々定率は、昨年同月（35.2%）を 23.2 ポイント上回る 58.0%（6 月 15 日時点）

2017 年卒 大学生就職活動調査の結果速報

.....

雇用職業情報を提供する、一般財団法人雇用開発センター（代表理事：井上英紀）は、「2017 年卒大学生の就職活動調査」をイプソス株式会社への委託により実施しました。

この度、調査結果の速報がまとまりましたので、一部抜粋をお知らせ致します。

【調査概要】

- ◆調査対象 2017 年 3 月卒業見込みで、就職活動中、または就職活動を終えた学生
全国の大学 4 年生及び大学院 2 年生 男女
- ◆調査期間 2016 年 6 月 15 日～6 月 22 日
- ◆調査方法 Web アンケート
- ◆有効回答 550 名（大学 4 年生：426 名／大学院 2 年生：124 名）

※文中に出てくる昨年同月調査（2015 年 6 月調査）とは、今年度と同様の調査で、2015 年 6 月 1 日～6 月 10 日に実施され、546 名の回答を得た。

【結果概要】

- ・調査時点での内々定率は 58.0%。男女別では男性が 58.4%、女性が 57.7%となっている。
- ・内々定保有者の 70.5%が「内々定先の企業に満足しているので、就職活動を終了する（終了している）」と回答。昨年同月の 44.8%を大きく上回っている。
- ・内々定保有者の 51.4%が「内々定の辞退をしたことがある」と回答し、こちらも昨年同月の 37.5%を上回っている。
- ・「スマホだけで就活を行った（6.5%）」と「スマホが殆どでパソコンは時々使った（20.0%）」を合わせると 26.5%の学生がスマホメインの就活を行っている。これは昨年同月の 19.5%を 6 ポイント上回る。
- ・昨年度（2016 年卒）から変更になった就活スケジュールについて、「就活期間が短いと思う」が 34.2%で 1 位、「ちょうど良いと思う」（32.9%）がほぼ並んで続いている。「ちょうど良い・・・」は昨年同月を 15 ポイントと大きく上回っている。
一方「就活期間が長いと思う」は 5.5%で、昨年同月の 21.4%から大幅減少となった。
- ・学業と就活の両立については「両立できたので、就活期間はちょうど良いと思う」が 33.6%、「就活期間が短く、学業との両立ができなかった」が 30.4%で続く。「就活期間が長く、学業との両立ができなかった」は 8.9%と、昨年同月の 20.7%から大きく減少した。

【お問合せ】

本調査に関するお問合せは下記までお願いします。

一般財団法人 雇用開発センター 相澤・石塚

〒108-0014 東京都港区芝 4 丁目 11 番 4 号 原ビル II 3 階 TEL：03-5419-3090

e-mail：aizawa@earc.or.jp URL：<http://www.earc.or.jp>

News release

1. 内々定状況

(1) 内々定率

- ・調査時点での内々定率は、全体で **58.0%**であった。
- ・男女別では、男性が **58.4%**、女性が **57.7%**でほぼ同率となっている。
- ・大学4年生の文理別では、理系学生が **59.5%**、文系学生が **58.0%**となっている。

表. 内々定の状況 (%)

	n	内々定を受けた	まだ、内々定を受けていない
【2016年6月調査】全体	550	58.0	42.0
男性	269	58.4	41.6
女性	281	57.7	42.3
大学4年生	426	58.2	41.8
大学院2年生	124	57.3	42.7
男性×大学4年生	186	58.6	41.4
男性×大学院2年生	83	57.8	42.2
女性×大学4年生	240	57.9	42.1
女性×大学院2年生	41	56.1	43.9
文系	331	55.6	44.4
理系	212	62.3	37.7
文系×大学4年生	307	58.0	42.0
文系×大学院2年生	24	25.0	75.0
理系×大学4年生	116	59.5	40.5
理系×大学院2年生	96	65.6	34.4

*参考

【2015年6月調査】全体	546	35.2	64.8
---------------	-----	-------------	------

(2) 就職活動の継続

- ・内々定保有者の **70.5%**が「内々定先の企業に満足しているので、就職活動を終了する（終了している）」と回答し、昨年同月の **44.8%**を大きく上回っている。昨年より選考開始時期が2ヵ月前倒しとなり、企業が早めの選考・内々定出しを行ったことと、学生側も就活の短期化を意識した結果の表れと思われる。

表. 就職活動の継続 (%)

	n	内々定先の企業に満足している ので、就職活動を 終了する（終了 している）	内々定先の企業 に満足していな いので、就職活 動を続ける	内々定先の企業 に不満はない が、他の企業も 受けたいので就 職活動を続ける	まだ決めていな い
【2016年6月調査】全体	319	70.5	14.1	12.9	2.5
男性	157	72.0	14.6	11.5	1.9
女性	162	69.1	13.6	14.2	3.1
大学4年生	248	67.7	16.1	13.3	2.8
大学院2年生	71	80.3	7.0	11.3	1.4
文系	184	67.4	16.3	12.0	4.3
理系	132	75.0	11.4	13.6	-

*参考

【2015年6月調査】全体	192	44.8	26.6	27.6	1.0
---------------	-----	-------------	------	------	-----

(3) 内々定の辞退

- ・内定を辞退したことがある学生は、全体で **51.4%**と、昨年同月の **37.5%**を14ポイント上回っている。
- ・文系男性の辞退率は **60.0%**と半数を超える高い数字となっている。

表. 内々定の辞退 (%)

	n	内々定の辞退を したことがある	内々定の辞退を したことがない
【2016年6月調査】全体	319	51.4	48.6
男性	157	52.2	47.8
女性	162	50.6	49.4
大学4年生	248	56.0	44.0
大学院2年生	71	35.2	64.8
文系	184	57.6	42.4
理系	132	43.9	56.1
文系×男性	70	60.0	40.0
文系×女性	114	56.1	43.9
理系×男性	85	47.1	52.9
理系×女性	47	38.3	61.7

News release

2. 就職活動の開始時期

- 就職活動の開始時期は、エントリー解禁の「大学3年生の3月から」が全体で41.5%と最も多くなっているが、それ以前の解禁前2月以前から活動を開始していた人を足し上げると58.5%と半数以上に上り、多くの学生が実際の解禁前に活動を開始していた現状が伺われる。これはスケジュールが後ろ倒しになった昨年度（2016年卒）から共通した動きとなっている。

表. 就職活動の開始時期 (%)

	n	2015年10月以前	2015年11月頃から	2015年12月頃から	2016年1月頃から	2016年2月頃から	2016年3月以降
【2016年6月調査】全体	550	19.8	6.2	9.3	9.5	13.8	41.5
男性	269	20.8	7.8	10.8	10.8	10.8	39.0
女性	281	18.9	4.6	7.8	8.2	16.7	43.8
大学4年生	426	19.5	7.0	8.7	9.4	15.0	40.4
大学院2年生	124	21.0	3.2	11.3	9.7	9.7	45.2
文系	331	20.5	6.9	10.0	9.1	14.5	39.0
理系	212	19.3	5.2	8.5	9.4	12.3	45.3
* 参考							
【2015年6月調査】全体	546	18.9	6.0	12.6	7.7	13.2	41.6

3. インターンシップの参加期間等

- インターンシップの参加率は全体で42.9%、平均社数は3.43社でいずれも昨年度月（参加率39%、平均社数2.57社）を上回っている。
- インターンシップの参加期間は「1日」が55.5%と1位で、昨年同月の41.9%を上回っている。

表. インターンシップの参加期間 (%)

	n	1日	2日	3日以上1週間未満	1週間以上2週間未満	2週間以上1か月未満	1か月以上3か月未満	3か月以上
【2016年6月調査】全体	236	55.5	14.0	36.0	19.1	8.9	6.4	5.5
男性	115	50.4	15.7	34.8	20.0	8.7	7.0	6.1
女性	121	60.3	12.4	37.2	18.2	9.1	5.8	5.0
大学4年生	198	58.6	15.7	38.4	19.2	6.1	6.6	3.0
大学院2年生	38	39.5	5.3	23.7	18.4	23.7	5.3	18.4
文系	144	59.7	15.3	42.4	17.4	3.5	5.6	4.2
理系	91	49.5	12.1	26.4	22.0	17.6	7.7	6.6
* 参考								
【2015年6月調査】全体	210	41.9	14.8	30.5	22.4	11.0	4.8	3.8

- また、インターンシップ情報の入手ルートとしては「インターンシップ情報サイト」が60.2%と昨年同月の46.7%を14ポイント上回り、一方「キャリアセンター」からという回答は38.1%で昨年の40.0%を僅かに下回った。

表. インターンシップ情報の入手ルート (%)

	n	キャリアセンター	インターンシップ情報サイト	企業のホームページ	友人、先輩から	新卒応援ハローワーク	その他
【2016年6月調査】全体	236	38.1	60.2	37.7	14.4	2.1	3.0
男性	115	37.4	58.3	40.0	15.7	0.9	3.5
女性	121	38.8	62.0	35.5	13.2	3.3	2.5
大学4年生	198	39.4	63.1	36.4	13.6	2.5	2.5
大学院2年生	38	31.6	44.7	44.7	18.4	-	5.3
文系	144	41.0	61.1	35.4	13.9	1.4	2.1
理系	91	34.1	59.3	41.8	15.4	3.3	3.3
* 参考							
【2015年6月調査】全体	210	40.0	46.7	41.4	13.3	3.3	6.2

News release

4. キャリアセンターの利用状況

- 「キャリアセンターを利用したことがある」が55.8%に対して「利用したことがない」学生も44.2%となっている。昨年同月と比べると、「利用したことがある」は約4ポイントの減少となっている。

表. キャリアセンター利用の有無 (%)

	n	利用したことがある	利用したことがない
【2016年6月調査】全体	550	55.8	44.2
男性	269	52.4	47.6
女性	281	59.1	40.9
大学4年生	426	58.9	41.1
大学院2年生	124	45.2	54.8
文系	331	59.5	40.5
理系	212	51.4	48.6

*参考

【2015年6月調査】全体	546	59.7	40.3
---------------	-----	------	------

- 利用しない理由としては、「利用してもメリットがない」が43.6%と最も多いが、「そもそも場所がわからない」(24.7%)「何となく敷居が高い」(30.5%)も高い数字となっており、大学にとっては考えさせられる結果となっている。

表. キャリアセンターを利用しない理由 (%)

	n	キャリアセンターの場所がわからない	利用してもメリットがないと思うから	何となく敷居が高く、入る勇気がない	周りの目が気になる(就職活動をしていることを知られたくない)	その他
【2016年6月調査】全体	243	24.7	43.6	30.5	8.6	5.3
男性	128	25.8	46.9	27.3	7.8	5.5
女性	115	23.5	40	33.9	9.6	5.2
大学4年生	175	21.1	45.1	33.1	11.4	4.6
大学院2年生	68	33.8	39.7	23.5	1.5	7.4
文系	134	19.4	44.8	38.1	10.4	5.2
理系	103	31.1	41.7	22.3	6.8	4.9

*参考

【2015年6月調査】全体	220	29.1	42.7	30.5	7.3	6.8
---------------	-----	------	------	------	-----	-----

5. スマホとパソコンの活用

- 「スマホとパソコンを半々で使い分けた」が35.6%で最も多いが、「パソコンが殆どでスマホを時々・・・」(25.5%)「スマホは使わずパソコンだけ・・・」(7.3%)を合わせたパソコン派が32.8%でそれに続いている。

ただし、昨年同月と比べると「スマホだけで活動した」(6.5%) + 「スマホが殆どでパソコンは時々使った」(20.0%)のスマホ派の回答率が19.5%から26.5%へと増えおり、学生の就職活動において、スマホが益々欠かせないツールとなっていることが伺える。

表. 就職活動でのスマホとパソコンの活用 (%)

	n	パソコンは使わずスマホだけで活動した	スマホが殆どでパソコンは時々使った	スマホとパソコンを半々で使い分けた	パソコンが殆どでスマホを時々使った	スマホは使わずパソコンだけで活動した	スマホもパソコンも使わなかった
【2016年6月調査】全体	550	6.5	20.0	35.6	25.5	7.3	5.1
男性	269	7.4	14.9	33.1	31.6	8.2	4.8
女性	281	5.7	24.9	38.1	19.6	6.4	5.3
大学4年生	426	7.7	24.2	38.3	20.0	5.4	4.5
大学院2年生	124	2.4	5.6	26.6	44.4	13.7	7.3
文系	331	6.6	26.0	37.2	19.0	5.1	6.0
理系	212	6.1	10.8	33.5	35.4	10.4	3.8

*参考

【2015年6月調査】全体	546	4.8	14.7	40.3	26.4	10.4	3.5
---------------	-----	-----	------	------	------	------	-----

News release

6. 就活スケジュール、学業との両立

- ・「就活期間が短いと思う」が 34.2%で最も多いが、次いで高い「ちょうど良いと思う」も 32.9%でほぼ並んでいる。また「ちょうど良いと思う」の割合は前年同月の 17.6%から大きく増えており、内々定率の高さが影響していると考えられる。

表. 就活スケジュールについて (％)

	n	就活期間がちょうど良いと思う	就活期間が短いと思う	就活期間が長いと思う	わからない
【2016年6月調査】全体	550	32.9	34.2	5.5	27.5
男性	269	33.8	33.1	5.2	27.9
女性	281	32.0	35.2	5.7	27.0
大学4年生	426	32.4	36.2	5.4	26.1
大学院2年生	124	34.7	27.4	5.6	32.3
文系	331	31.1	34.7	6.3	27.8
理系	212	35.4	34.4	4.2	25.9

* 参考

【2015年6月調査】全体	546	17.6	39.9	21.4	21.1
---------------	-----	------	------	------	------

- ・学業との両立については、「両立できたので就活期間はちょうど良い」が 33.6%で最も多く、就活期間が短く、両立できなかった」が 30.4%となっている。
- ・昨年度（2016 卒）から、選考開始時期が 2 ヶ月前倒しになったので、就活期間が短いと感じるのは当然かと思われるが、昨年同月と比べ、「両立できたので就活期間はちょうど良い」は 10 ポイント増加しており、肯定的に感じる学生が増えている。

表. 学業との両立 (％)

	n	学業と就活が両立できたので、就活期間はちょうど良いと思う	就活期間が短く、学業と就活が両立できなかった	就活期間が長く、学業と就活が両立できなかった	わからない
【2016年6月調査】全体	550	33.6	30.4	8.9	27.1
男性	269	30.1	32.7	9.7	27.5
女性	281	37.0	28.1	8.2	26.7
大学4年生	426	35.9	30.5	8.2	25.4
大学院2年生	124	25.8	29.8	11.3	33.1
文系	331	35.3	29.0	8.5	27.2
理系	212	30.7	33.5	9.9	25.9

* 参考

【2015年6月調査】全体	546	23.6	31.3	20.7	24.4
---------------	-----	------	------	------	------

【本調査結果の詳細】

- ・本調査結果の詳細については弊社ホームページ (<http://www.earc.or.jp>) をご参照ください。

以上